

## SQUARE

# GT-NS3/NS5/NS7

# NS10L/NS20/NS30

- ご使用前に、この取扱説明書をお読みください。
- お読みになった後はいつでも使用できるように大切に保管してください。



## 目 次




●安全にご使用いただくために	P.2
●製品の特長	P.3
●製品の外観/仕様	P.4
●設置/接続	P.5
●ご使用前に	P.6
●運転	P.7
●保守・点検	P.7
●分解図/部品表	P.8
●異常時の処置	P.9
●保管	P.9
●保証書	P.10












## ■安全にご使用いただくために

### 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危険の大きさにより次の2段階に区分して表示しています。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される場合

	この記号は、「警告や注意」を促す内容です。
	この記号は、行為を禁止する内容です。
	この記号は、行為を「強制」する内容です。

 <b>注意</b>	
 <b>禁止</b>	防爆を要求する環境で使用しないでください。 防爆構造ではありませんので爆発や火災のおそれがあります。
 <b>禁止</b>	急激に温度変化する環境や結露する場所では使用しないでください。 作動不良や故障のおそれがあります。
 <b>水濡禁止</b>	水、油、溶剤がかかるような場所や湿気の多い場所で使用しないでください。腐食や故障のおそれがあります。
 <b>禁止</b>	取り付けたブレードの刃部を直接触らないでください。切創や切断など重大なけがのおそれがあります。
 <b>禁止</b>	仕様に示された継手規格以外で使用しないでください。 継手付近からの破裂、爆発のおそれがあります。
 <b>禁止</b>	本書を理解できるまでは、製品の設置、使用、保守をしないでください。
 <b>禁止</b>	動力源を遮断せずに点検・調整を行わないでください。 切創や切断など重大な事故のおそれがあります。
 <b>禁止</b>	本機を手で保持して使用しないでください。切創や切断など重大なけがのおそれがあります。
 <b>必ず守る</b>	本書は簡単に参照できるように、製品のそばに保管してください。
 <b>注意</b>	本機を運用した結果については、一切の責任を負いません。

## ■ 製品の特長

---

### NSタイプの特長

- タフボディ
  - ・ ハードな作業に耐えられるよう、アルミ製ボディを採用しました。
- 別作ブレードに対応
  - ・ 用途に応じてブレードを交換することで、広範囲な作業に使用できます。
- 吸気位置の調整
  - ・ 吸気口が2箇所あり、本体取付け位置に応じて自由に変わります。
- 設置の自由度
  - ・ 角形状なので配列しやすく、自動機周辺のチャック盤などへの設置が容易です。
- 高い拡張性
  - ・ 本体側面のタップ穴を利用し、限られたスペースでの設置が可能となります。
  - ・ 本体側面のタップ穴にセンサーや、安全装置などが簡単に取り付けできます。
  - ・ 別作対応にて、ブレードの刃開き調整機能を装着できます。

### 用途

樹脂製品のゲートカットやカシメ作業など、様々な作業の省力化にご使用ください。

## ■ 製品の仕様

---

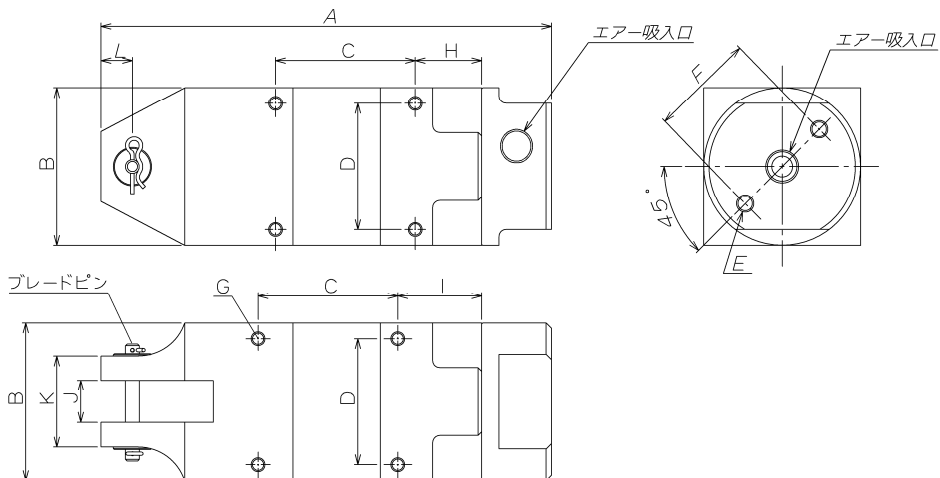
**使用環境温度** : 0°C～60°C(凍結、結露がなきこと)

### 主材質

フレーム : アルミ  
ピストン : POM

## ■製品の外観／仕様

### 外観図



### 仕様

品番	重量(g)	空気消費量(cm <sup>3</sup> /回)	使用空気圧力(MPa)	エア吸入口 ネジサイズ
GT-NS3	95	45	0.4~0.5	Rc1/8
GT-NS5	135	64		
GT-NS7	215	116		
GT-NS10L	215	116	0.5~0.6	
GT-NS20	370	230		
GT-NS30	685	584		

### 各部寸法

品番	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	F (mm)	G (mm)	H (mm)	I (mm)	J (mm)	K (mm)	L (mm)
GT-NS3	110	23	40	19	M3 深 8	17	M3 深 3.5	19	24	7	23	7
GT-NS5	94	30	30	24	M4 深 10	20	M3 深 5	14	19	7	23	7
GT-NS7	113	36	30	28	M4 深 10	24	M4 深 5.5	18	23	9	23	7
GT-NS10L	113	36	30	28	M4 深 10	24	M4 深 5.5	18	23	12	26	7
GT-NS20	129	45	40	36	M5 深 12	30	M4 深 7	19	24	12	26	9
GT-NS30	170	56	60	46	M6 深 12	40	M5 深 10	20	30	17	36	15

## ■ 設置/接続

### ⚠ 注意 接続時

⊘ 禁止	エアー供給を遮断せずに接続作業をしないでください。
⊘ 禁止	エアー供給後はブレードに手や体を近づけないでください。
⊘ 禁止	不安定な姿勢や、目線より高い位置で接続作業をしないでください。

#### 治具に取り付けて使用する

本機は自立しませんので、本体の取り付け穴を使用し、下記条件を満たし確実に取り付けてください。

#### 取り付け条件

- 仕様に示されたタップ穴に適切なサイズのボルトを使用してください。
- 目安としてネジ部が取り付け用タップ穴に 80%以上入るものを使用してください。
- 必要に応じてワッシャーなどを使用してください。
- 本体はアルミ製ですので、ボルトの締め過ぎには注意してください。  
推奨締め付けトルク[1.5N・m]
- 使用されるホースは内径 5mm 以上のものをお使いください。
- エアー供給元のソレノイドバルブ等からの距離が遠く、本機までのエアーホースが長くなると本機の性能を十分に発揮できなくなります。極力ホース長は短くしてお使いください。
- 複数のエアーニッパーに対し、ソレノイドバルブ1つから分岐すると能力低下の恐れがあります。  
使用環境や条件に応じた設備を御準備ください。
- 周辺機器との連携などの明確な目的がない場合は、3ポートのソレノイドバルブをお使いください。

#### 接続条件

- 本機は手で保持して使用することを目的としておりませんので、絶対に手作業で使用しないでください。
- エアー吸入口は2箇所あります。製品の仕様ページを参考にし、吸入口の六角穴付き止めねじを外し、各規格サイズの継手を取り付けてください。この際、一方の吸入口は必ず密封した状態でお使いください。

#### 調整

- 本体末端部の[エンドキャップ]を回転させることで、本体側面吸気口の位置調整が行えます。お使用の状況に合わせて調整してください。

※回転させる際は、完全に締めた状態から原則 180°以内に留めてください。

## ■設置/接続

### 周辺機器について

- 本機の性能を十分に発揮するため、エアーコンプレッサーは 0.75kw 以上の能力、または吐出圧力を 0.7Mpa 以上安定供給できるものを使用してください。
- エアーコンプレッサーから本機の間、エアドライヤーやウォーターセパレーターなどの水分除去機器を取り付けてください。
- 粉碎機などの直上への取り付けは避けてください。ブレード交換時や点検時に落下し粉碎機の刃が損傷する場合があります。
- 横型射出成型機の金型の直上に設置しないでください。不慮の落下により、金型や機械を損傷する場合があります。
- ロボットアームに本機を取り付けられる場合は、ロボットの出力に関わらず、必ずフェンスや防護柵を設置してください。ブレード先端にて思わぬ事故につながる恐れがあります。

## ■ご使用前に

⚠注意 ご使用前に	
● 必ず守る	必ず配管継ぎ手は仕様に示されたものを御使用ください。 エアー漏れの恐れがあります。
● 必ず守る	異常が見られたときは直ちに使用を中止してください。
⊘ 禁止	エアー供給を遮断せずに設置・接続作業をしないでください。
⊘ 禁止	製品を改造、分解することはおやめください。 圧縮空気により破裂、爆発の恐れがあり大変危険です。
⊘ 禁止	製品を床に落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
⊘ 禁止	エアー供給後はブレードに手や体を近づけないでください。
⊘ 禁止	エアー供給を遮断せずにブレードの交換作業をしないでください。
⊘ 禁止	手袋などの保護具を着用せずにブレード交換作業や調整を行わないでください。

- エアーニッパー本体や継手、ホースなどに傷、エアー漏れが無いか確認してください。
- ブレード脱着時に刃で手を切る恐れがあるため必ず手袋を着用してください。
- 確実に治具や装置に取り付けたことを確認してからエアー供給を行ってください。
- 本書[製品の仕様]ページを参照し、適切な空気圧でご使用ください。
- ソレノイドバルブからのエアー供給時間が短すぎると、カット不良などが起きやすくなります。  
エアーニッパー本体に十分な圧力が充填されるよう、余裕のあるカットサイクルでお使いください。

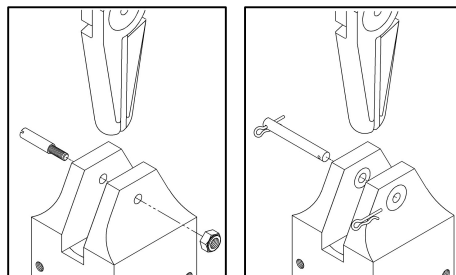
## ■ 運転

### ⚠ 注意 使用時

⊘ 禁止	エアーニッパー稼働中はニッパー本体に近づかないでください。
⊘ 禁止	エアー供給後は絶対にブレードに触れないでください。
⊘ 禁止	エアーニッパーの近くでの作業は行わないでください。
⊘ 禁止	エアー供給を遮断せずに本体を放置しないでください。

1. エアー供給を遮断してください。
2. スナップピン、または U ナットを外しブレードピンを抜きます。
3. お使いのブレードを装着し、逆の手順でピンを装着します。
4. エアーを供給し、ソレノイドバルブなどからエアーが流入すれば作動します。

くれぐれも安全作業を励行しお使いください。



## ■ 保守・点検

### ⚠ 注意 保守・点検

⊘ 禁止	エアー供給を遮断せずに点検作業を行わないでください。けがのおそれがあります。
⊘ 禁止	洗剤や溶剤で拭いたりしない。製品の劣化・故障のおそれがあります。
⊘ 水濡禁止	水をかけないでください。腐食や故障のおそれがあります。
● 点検する	点検は定期的におこなってください。早期故障のおそれがあります。

### メンテナンス

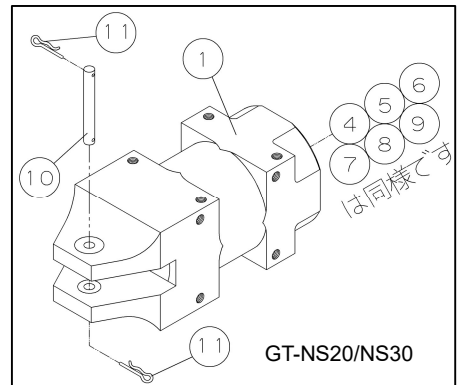
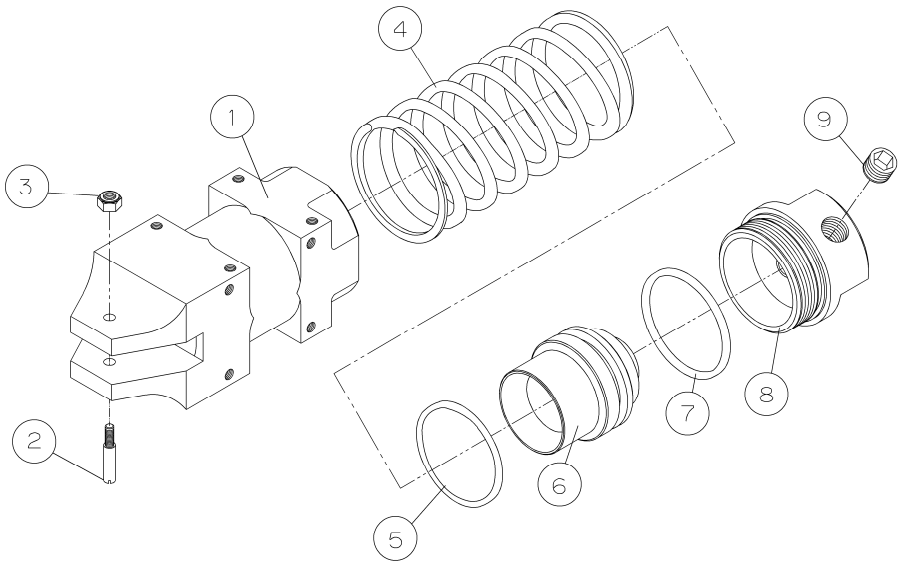
ブレード、スプリング、ピストン、O リングなどは消耗品です。より永くお使いいただくため、以下のメンテナンスを行ってください。

- ブレードの摺動部に1日2回を目安にし、浸透性、潤滑性の良いスプレータイプの油を注油して下さい。
- ブレード摺動部周辺に切りカスなどが付着していればこまめに除去してください。
- ピストンは使用状況によりますので定期的に目視で確認していただき、へこみ、へたりが見られたらピストンを90°回転させ接触面を変えてください。
- 本体からエアー漏れの音、または能力の低下を感じましたら、ピストン周辺の O リング交換を行ってください。

各部品の発注は〔部品表〕を参照し、お近くの販売店、営業所にお問い合わせください。

各部のメンテナンスについては本書後部の分解図をご覧ください。

# ■分解図/部品表



図内 番号	部品名称	個数	部品番号					
			NS3	NS5	NS7	NS10L	NS20	NS30
1	フレーム	1	851201	851251	852801	850601	850701	850801
2	ブレードピン	1	851202	851252	852802	850602	-	-
3	六角 U ナット	1	851211	851261	852811	850611	-	-
4	リターンスプリング	1	851204	851254	852804	850604	850704	850804
5	ピストン O リング	1	851205	851255	852805	850605	850705	850805
6	ピストン	1	851206	851256	852806	850606	850706	850806
7	エンドキャップ O リング	1	851207	851257	852807	850607	850707	850807
8	エンドキャップ	1	851208	851258	852808	850608	850708	850808
9	六角穴付テーバーネジプラグ	1	851210	851260	852810	850610	850710	850810
10	ブレードピン	1	-	-	-	-	850712	850812
11	スナップピン	2	-	-	-	-	850714	850814

※表内[-]の部品は使用していません。



## ■異常時の処置

<b>⚠注意 異常時の処置</b>	
⊘ 禁止	次のような場合は使用しないでください。破裂や事故のおそれがあります。 ・落下や衝撃によって損傷している。 ・刃や部品がガタついている。 ・エアーが漏れる音がする。
● 必ず守る	異常時にはエアー供給源を遮断する。
⊘ 分解禁止	分解・改造は絶対におこなわないでください。

不良や異常のままで使用した場合、製品の故障や事故の原因となりますのですみやかに修理を依頼してください。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因	処置
ブレードが正常に作動しない (切断能力の低下/不能)	エアー供給できていない	各コック等の開栓 コンプレッサーの始動/開栓 ソレノイドバルブの確認
	ホースが捻れている	捻れを解消する
	供給圧力が低い	供給圧力調整
	摺動部に錆・磨耗・異物混入	注油/本体の分解調整
	摺動部の焼き付き(ヒートニツパー)	部品交換
	ブレードスプリングの破損	部品交換
	リターンスプリングの破損	部品交換
エアーが漏れている	ブレードの破損・磨耗	ブレード交換
	バルブ部の異状/磨耗・破損 (Oリング、弁ボールなど)	部品交換
	パッキンの破損	部品交換

## ■保管

<b>⚠注意 保管</b>	
⊘ 禁止	次のような場所には保管しないでください。故障のおそれがあります。 ・本体に著しい振動や衝撃が加わる場所 ・高温多湿な場所 ・結露する場所 ・急激な温度変化のある場所 ・可燃性の溶剤や粉塵等、引火や爆発のおそれのある場所 ・ホコリ・粉塵・煙が多い場所 ・水・油・薬品等がかかる場所

### お願い

以下のような場合、事故防止のため必ず販売店に点検修理を依頼してください。

- 正しく配管をしても作動しない。
- 刃がガタついて切れない。
- シリンダーや摺動部から異音がする。
- エアーが漏れる音がする。

MEMO

MEMO

# 株式会社ベッセル

お客様お問い合わせ窓口

**06-6976-7771** 8:30-17:30 ※平日の12:00～13:00、土・日・祝日・夏期休暇・年末年始は除きます。

本社	〒537-0001	大阪市東成区深江北2丁目17番25号	TEL.06-6976-7771	FAX.06-6971-1309
札幌出張所	〒065-0011	札幌市東区北11条東14丁目1番1号	TEL.011-711-5003	FAX.011-704-4725
仙台出張所	〒984-0002	仙台市若林区卸町東1丁目2番10号	TEL.022-236-1567	FAX.022-232-7959
北関東営業所	〒370-0044	群馬県高崎市岩押町27番6	TEL.027-310-3757	FAX.050-3852-2745
東京支店	〒143-0025	東京都大田区南馬込5丁目43番13号	TEL.03-3776-1831	FAX.03-3776-5607
名古屋営業所	〒457-0014	名古屋市南区呼続四丁目3番1号	TEL.052-821-9575	FAX.050-3606-2649
大阪支店	〒537-0001	大阪市東成区深江北2丁目17番25号	TEL.06-6976-7772	FAX.06-6971-1309
広島出張所	〒733-0035	広島市西区南観音7丁目8-11	TEL.082-291-0106	FAX.082-295-1727
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南6丁目1番22号	TEL.092-411-5710	FAX.092-411-5770

[www.vessel.co.jp](http://www.vessel.co.jp)

Ver.5 Printed on 2025/02/06